

事業年度評価（各事業年度の業務実績の評価）の流れについて（案）[大学]

中期計画の実施状況の調査・分析は、
年度計画の実施状況の調査・分析により行う。

調査・分析（項目別評価）

【 法人（大学） 】

業務実績報告・自己評価

■小項目ごとの自己評価

- 評価対象：年度計画の実施状況
- 評価単位：中期計画の小項目ごと
- 評定：I～IVの4段階

《自己評価の判断基準》

- IV…年度計画を上回っている
- Ⅲ…概ね年度計画どおり実施している
- Ⅱ…年度計画を下回っている
- I…年度計画を大幅に下回っている

- ・評定の判断理由（実施状況等）を記載。
- ・特色ある取組、業務運営を円滑に進めるための工夫、今後の課題等を自由記述。

ヒアリング
の実施

自己評価や
計画設定の
妥当性等を
含め、総合
的に検証

評価結果
（案への
意見申出の
機会の付与

【 評価委員会 】

検証

■小項目ごとの検証

- 検証対象：年度計画の実施状況
- 検証単位：中期計画の小項目ごと
- 検証：I～IVの4段階

《自己評価の妥当性を検証》

- IV…年度計画を上回っている
- Ⅲ…概ね年度計画どおり実施している
- Ⅱ…年度計画を下回っている
- I…年度計画を大幅に下回っている

- ・法人の自己評価の妥当性を検証。検証結果が自己評価と異なる場合は理由を明示。

■大項目ごとに小項目の検証結果を集計

- 集計単位：中期計画の大項目ごと

【大学】4項目 〔①業務運営の改善・効率化、②財務内容の改善、③自己点検・評価・情報提供、④その他重要事項〕

- ・大項目ごとに小項目の検証結果を集計するとともに、検証結果の概要を示す。

※以下5つの大項目については、自己評価・検証は行わず、実施状況の確認のみ。（全体評価の際には考慮。）

- ①予算・収支計画・資金計画 ②短期借入金の限度額
- ③重要財産の処分計画 ④剰余金の使途
- ⑤景規則事項

※教育研究に関する項目については、その特性への配慮から、専門的観点からの評価は行わず、実施状況の確認のみ。（特筆すべき点、遅れている点についてコメントを付す。）

調査・分析（項目別評価）の結果を踏まえて

総合的な評定（全体評価）

【 評価委員会 】

全体評価

- 評定対象：当該年度における中期計画の全体的な実施状況
- 総合的な評定を行うとともに、記述式で総括的に評価
- 評定：S・A～Dの5段階

《評定の判断基準》 中期目標の達成に向けて…

- S…特筆すべき進捗状況にある（特に認める場合）
- A…Ⅲ段階に進んでいる
- B…概ねⅢ段階に進んでいる
- C…やや遅れている
- D…重大な遅れがある

- ①法人の組織・業務全般にわたる検討
 - ②次期中期目標・計画の策定
- の際に評価結果を活用